

誓いの言葉

今年、日本そしてヒロシマは戦後70周年を迎えます。

70年前というと、私たちはもちろん生まれておらず、全く体験したことの無い時代であり、その70年前にあった戦争や原爆投下の出来事は想像もつきません。このように今、戦争・原爆について私達と同じく遠いことのように思う人たちが増えています。また、それと同時に実際にその時体験したことを伝える方達が減っていらっしやいます。しかし、その70年前の出来事のうち忘れて良いこと、知らなくて良いこと、どうでも良いことは一つもありません。

では、私たちは今、何をすべきなのでしょう？

私たちには戦争体験を語り継ぐ義務があります。私たちは事前平和学習で、戦争について知ったり考えたりしました。それによって、戦争・平和に対するそれぞれの思いを持ち、広島でより詳しく学ぼうと決心し、ここにやってきました。この広島で学んだことを家族や後輩に、そして将来子どもに語り継ごうと思います。永久に戦争、そして原爆についてのことを忘れることがないようにするのが、今私たちがすべきことです。

私たちが勉強できるのも、おいしく食事できるのも、好きなことに夢中になれるのも日本が平和だからです。そしてそれは決して当たり前ではなく、世界にはこの中の1つもできない国、平和ではない国が多くあります。そんな国も含め、世界中の恒久平和を実現するために、私たちは今すべきことに全力で取り組みます。

松井 志央